

《 2017年10月 マーケット概況 》

資産クラス	指数	8月	9月	10月	当月リターン	年初来リターン
国内株式	日経平均株価	19,646.24	20,356.28	22,011.61	8.13%	15.16%
	マザーズ指数	1,100.80	1,093.10	1,134.03	3.74%	20.30%
外国株式	S&P500	2,471.65	2,519.36	2,575.26	2.22%	15.03%
	MSCI Europe	1,708.24	1,763.38	1,770.16	0.38%	20.33%
新興国株式	上海総合指数	3,360.81	3,348.94	3,393.34	1.33%	9.33%
	ムンバイ SENSEX	31,730.49	31,283.72	33,213.13	6.17%	24.74%
海外金利	米政策金利	1.25	1.25	1.25	-	-
	米国債 10年	2.12	2.33	2.38	-	-
国内金利	政策金利	0.10	0.10	0.10	-	-
	10年物国債	0.01	0.07	0.07	-	-
外国為替 (対円)	米ドル	109.98	112.51	113.64	1.00%	-2.84%
	ユーロ	130.98	132.92	132.34	-0.44%	7.62%
コモディティー	ICE 原油(先物)	52.91	56.59	60.94	7.69%	6.00%
	COMEX 金(先物)	1,322.20	1,284.80	1,270.50	-1.11%	10.07%
不動産	東証 REIT 指数	1,683.79	1,653.72	1,629.26	-1.48%	-12.21%
ヘッジ・ファンド	HFRX 指数	1,249.34	1,256.79	1,265.46	0.69%	5.15%

◆◇ 株式・債券・為替 ◇◆

[10月の金融市場]

日本株は衆議院選挙における与党圧勝や企業業績の好調を受け、日経平均株価は2万2,000円台に乗せ、20年来の高値を更新しました。ソニーや京セラなど大型株が決算発表を受けて大きく上昇しました。また米国株が下げても日本株が上昇するなど、大きな資金の流入が感じられる動きとなっており、今後も日本株が一段高を想定させるような動きとなりました。

米国の法人税減税の行方に注目が集まっていますが、35%から20%へと税率を引き下げることによって法案を恒久的な措置として、年内の法案成立を目指すようです。党内の調整も難航するとの見通しが多かった中、共和党が改革案を公表しました。トランプ大統領はこここのところ、債務上限引き上げ(12月まで)や予算案と、難しいと見られていた案件をこなしており、投資家はトランプリスクを忘れつつあります。

また11月に入り、新たなFRB議長にパウエル現理事がトランプ大統領により指名されました。パウエル氏はイエレン現議長の緩やかに金融政策の正常化を進める方針を引き継ぐとされており、市場参加者は現在の良い環境が継続すると好感しています。

為替市場では小幅に円安ドル高が進み1ドル=113.64円となり、これも日本株上昇を後押しする材料となりました。

[今後の見通し]

日本企業の業績は確実に良くなっており、その辺りへの投資が継続すると見られます。中でも半導体関連銘柄の好業績は目を引きます。一方で半導体関連銘柄の上昇は2016年の前半から継続しており、新たな投資先を探したいところであります。

そこで注目したいのが化学セクターです。地味なセクターとして認識されがちですが、多くの製品の作りが根本的に変わりつつある今、活躍するが化学セクターです。そして日本の化学産業の力は世界でも有数のものとなっています。割安な会社も多いため、今のうちに投資しておけば、この先花開く投資先かもしれません。

米国の法人税減税は、11月3週に行方が明らかになってくるということで、少し注意しておきたいところです。

◆◇ オルタナティブ(ヘッジファンド) ◇◆

[10月のヘッジファンド動向]

米調査会社ヘッジファンドリサーチ社(HFR社)のヘッジファンド・インデックスは10月もプラスを示し、連続12か月の上昇となりました。

10月の金融市場では積極的にリスクを取る動きがみられ、特に株式市場においてはNYダウやドイツDAX等の指数が史上最高値を更新するほか、日経平均も20年ぶりの高値を付けるなど活況を呈しました。そしてヘッジファンド戦略の中ではCTAが最もその恩恵を受けました。CTAの基本的な戦略は株式のトレンド・フォロー型で、相場が上昇すれば機械的に買いを入れる手法を取ります。それを借入金により何倍ものレバレッジを掛けて行うのが特徴です。10月の株式市場は世界的にほぼ一本調子に上昇したことから、9月のマイナスから一転、プラス3.67%の好成績を収めました。また、マクロも株式の上昇による恩恵を大きく受けた戦略です。マクロは政治や経済を背景に世界の様々な資産に投資を行っていますが、株式資産の膨張が運用成績の上昇に寄与しました。一方、株式市場の上昇では成績を上げてきたロング・ショートが振るいませんでした。“売り”の持ち高が結果として足を引っ張ったと推察されます。レラティブ・バリュー戦略は、米国金利の上昇など債券市場の動きを捉えて運用成績を伸ばしました。

前号等で米シティグループの日本におけるヘッジファンドビジネスの拡大や、米富豪コーエン氏のファミリーオフィス「ポイント72」の日本スタッフ増員など、日本市場への期待の高まりに触れてきましたが、また新たにロング・ショート戦略のファンドが立ちあがります。このファンドを率いる村上裕亮氏は上場ヘッジファンド最大のマングループで日本株アナリストを務めた経歴を持つ32歳。その若さに加え、有名なゲーマーとしての側面を持つ点で注目されています。11月から80億円で運用を開始して1年で300億円への拡大を目指すとしています。日本市場に収益の源泉を求めるこのような動きは今後も増えてくるでしょう。投資家にとって投資の選択肢が更に増えることは朗報だといえます。

【ヘッジファンドインデックスと主な戦略別の運用成績(月別騰落率)】

	2017年						
	年初来	10月	9月	8月	7月	6月	5月
ヘッジファンド・インデックス	5.15%	0.69%	0.60%	0.29%	0.93%	0.21%	0.24%
株式ロング・ショート	7.91%	0.79%	1.82%	0.50%	0.87%	0.86%	-0.57%
イベント・ドリブン	6.44%	-0.13%	0.79%	0.08%	1.00%	-0.03%	0.93%
レラティブ・バリュー	3.38%	0.52%	0.25%	-0.05%	0.91%	0.21%	0.27%
マクロ	1.83%	1.92%	-1.03%	0.76%	0.94%	-0.41%	0.49%
CTA	1.67%	3.67%	-1.80%	1.08%	1.63%	-1.48%	0.36%

銘柄レポート（輸出比率の高い関西企業）

（この記事は光世証券のブログ Investors ball に 10 月 24 日に掲載した記事を更新したものです）

関西には技術力のある中小企業がたくさんあります。その中でも輸出比率が高く、足元の業績が良い 8 銘柄をピックアップしました。

コード	銘柄名	現値	予想PER（倍）	予想配当 利回り（％）	時価総額 （億円）	年初来 上昇率（％）
6246	テクノスマート	1716	19.1	0.93	186	175
6640	第一精工	2918	28.6	0.51	488	122
6210	東洋機械金属	842	9.9	2.97	174	88
6859	エスベック	2654	20.1	1.88	631	98
6277	ホソカワミクロン	7060	18.8	1.09	608	87
4971	メック	1831	25.4	1.09	368	89
6637	寺崎電気産業	1346	11.0	1.04	175	52
6315	TOWA	2002	15.3	0.70	501	22

[6246 テクノスマート]

本 社 住 所 : 大阪市中央区久太郎町 2 丁目 5-28 久太郎町恒和ビル 2 階

上 場 市 場 : 東証二部

決 算 期 : 3 月 … 2Q 決算発表予定(11 月 10 日)

事 業 内 容 : リチウムイオン電池電極製造装置、液晶ディスプレイ用変更膜製造装置、各種フィルム製造装置

海外売上高比率: 72.2%

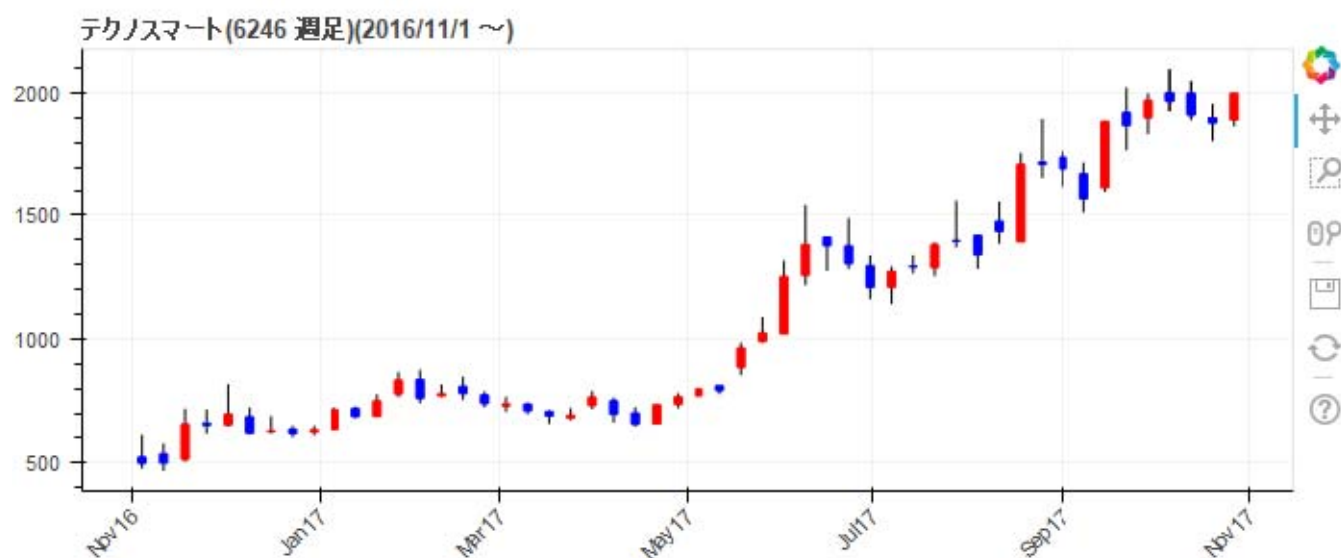
業績(1Q決算 8月4日発表)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
30年3月期第1四半期	4,254	123.4	548	918.5	572	806.4	389	832.4	36.76	
29年3月期第1四半期	1,904	41.3	53	—	63	—	41	—	3.94	

平成30年3月期の業績予想(5月12日)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第2四半期(累計)	8,500	92	680	124.4	690	126.5	460	130.3	43.41	
通期	15,500	43	1,180	17	1,200	16.2	800	15.5	75.5	

業績予想修正(10月27日)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第2四半期(累計)	8,300	-2.30	1,050	54.4	1,080	56.50	730	58.6	68.89	
通期	14,500	-6.4	1,350	14.4	1,400	16.6	950	18.7	89.66	

売上的大幅な伸びが見られます。受注高はそれほど伸びていませんが、受注残高が前年の 55 億円から 85 億円へと増加しているため、業績の一段の伸びが期待されます。一方で、株価は 4 月から 3 倍上昇しており、よほど大きな上方修正がない限り、100 日移動平均線辺りまでの調整がありそうです。

(11 月 2 日追記) 10 月 27 日に上方修正が発表されましたが、通期見通しの引き上げが小さく、株価は調整しています。しかし進捗率が高く、今後も上方修正が期待できるため、押し目買いを狙いたいところです。



[6640 第一精工]

本 社 住 所 : 京都市伏見区桃山町根来 12 番地 4

上 場 市 場 : 東証 1 部

決 算 期 : 12 月期 ... 3Q 決算発表予定(11 月 9 日)

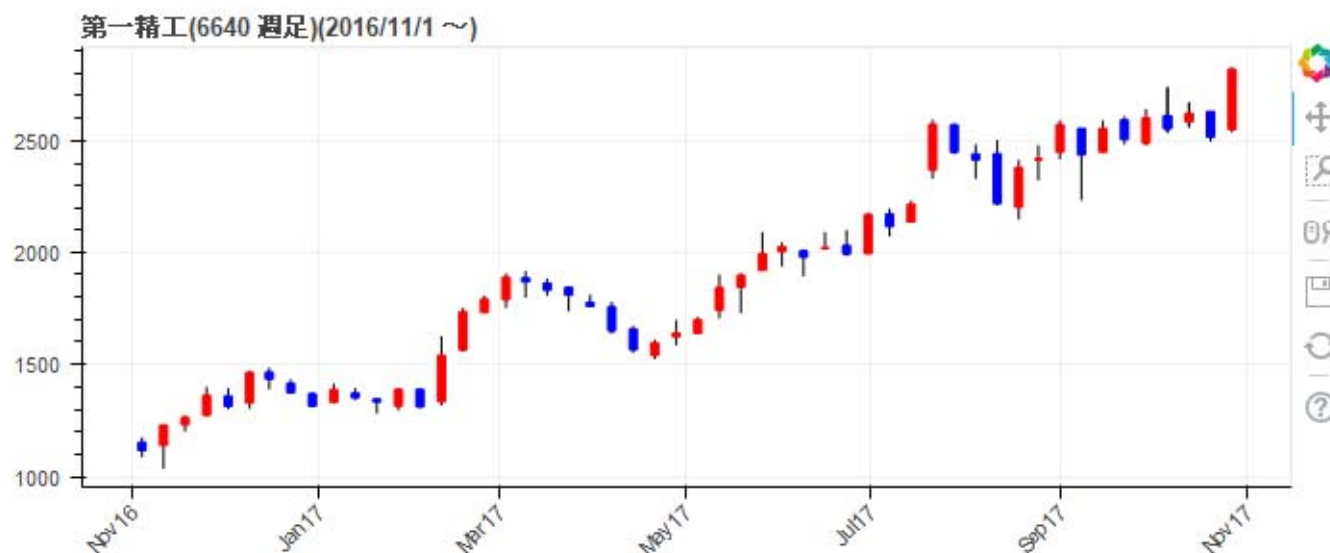
事 業 内 容 : コネクタ事業、自動車部品事業(電装部品、センサなどの販売)、精密部品事業(HDD 機構部品、電子機構部品の製造販売)、金型・生産設備事業(半導体・液晶関連製造装置の製造・販売)

海外売上高比率: 64.3%

業績(2Q決算 8月9日発表)									
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
29年12月期第2四半期	24,440	10.7	841	—	684	—	267	—	16.02
28年12月期第2四半期	22,083	△5.1	△410	—	△1,246	—	△1,393	—	-83.3

平成29年12月期連結業績予想									
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	51,000	11.3	2,500	523.2	2,400	199.7	1,600	916.8	95.68

決算短信によるとアンテナ用超小型 RF 同軸コネクタが PC,スマホ向けに回復したことに加え、IOT デバイス向けを中心に伸ばしました。自動車部品は自動車の販売が低迷しているにもかかわらず、同社のセンサへの需要は電気自動車化に向けて堅調に伸びています。半導体もちろん堅調です。2300-2500 円で買ってみたいところです。



[6210 東洋機械金属]

本 社 住 所 : 兵庫県明石市二見町福里 523-1

上 場 市 場 : 東証1部

決 算 期 : 3月期 ... 2Q 決算発表(10月30日)

事 業 内 容 : プラスチック射出成型機、ダイカストマシン及び周辺自動機

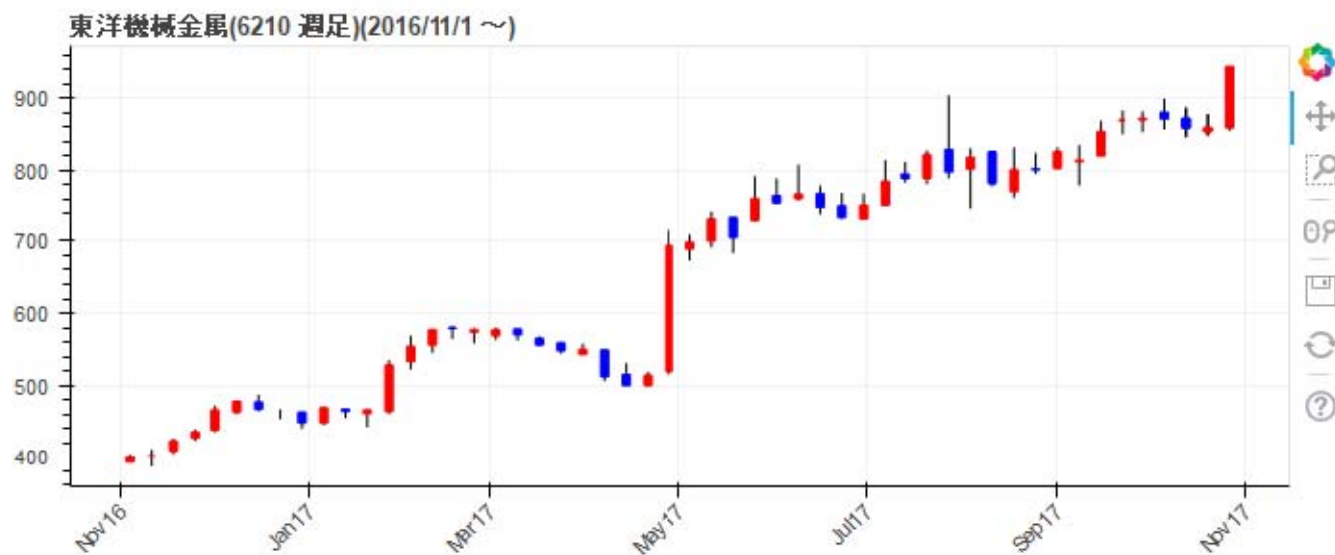
海外売上高比率: 65.5%

業績(10月30日発表)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
30年3月期第2四半期	15,392	16	924	27.7	943	46.1	608	72.9	32.38	
29年3月期第2四半期	13,275	0.8	723	-17.5	645	-29.6	352	-50.5	18.73	

平成30年3月期連結業績予想										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	30,000	8.3	2,400	31.6	2,400	31.7	1,560	3.6	82.97	

第1四半期の受注高は80.6億円と前期比26.3%増で、当初の売上予想を上回る勢いです。PERも10倍程度と安く、現在のレベルでも買いたいところです。

(11月2日追記) 決算発表に向け順調に上昇していましたが、通期見通しの引き上げがなかったため、決算発表後は下落する展開となっており、押し目買いのチャンスです。



[6859 エスペック]

本 社 住 所 : 大阪市北区天神橋3-5-6

上 場 市 場 : 東証1部

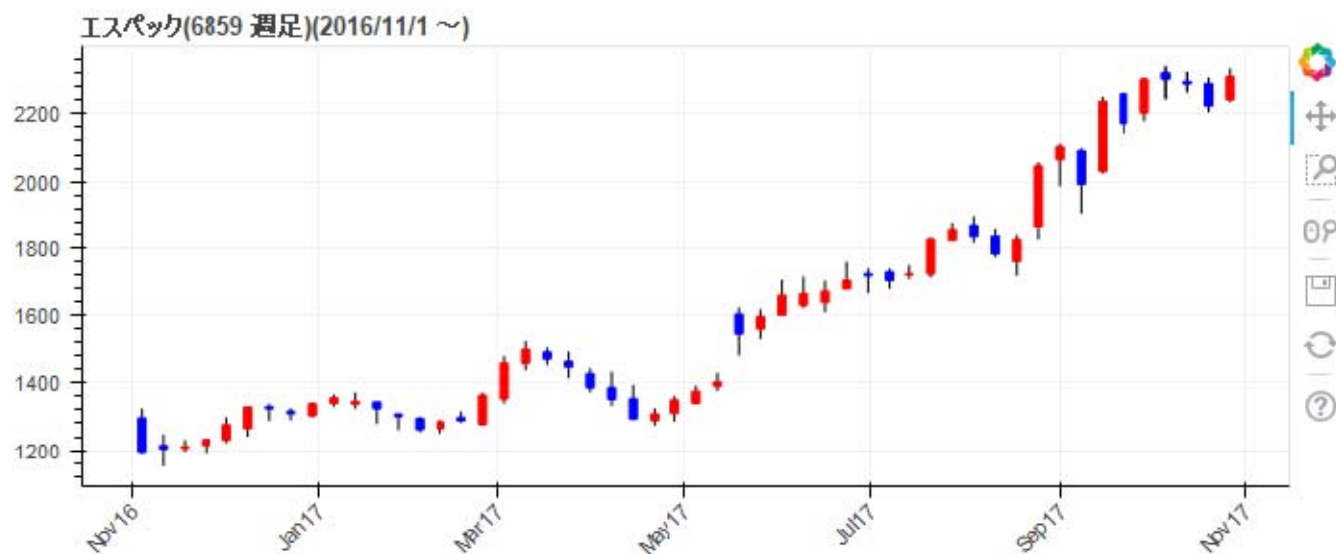
事 業 内 容 : 環境試験機 ※

海外売上高比率: 42.2%

※ : 環境試験機とは、温度や湿度、圧力など様々な環境因子を人工的に再現する装置で、あらゆる工業製品の開発において活躍する商品です。先端技術に欠かせないもので、イノベーションのスピードが加速している現代に必須といえます。

業績(10月30日発表)									
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
30年3月期第2四半期	18,396	6.6	1,625	61.1	1,691	103	1,165	127.5	51.01
29年3月期第2四半期	17,250	6.9	1,009	△11.0	833	△34.6	512	△36.1	22.47

平成30年3月期の連結業績予想(10月30日上方修正)									
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	44,000	11.4	4,400	35.7	4,500	41.9	3,200	43.3	139.99



[6277 ホソカワミクロン]

本 社 住 所 : 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地

上 場 市 場 : 東証1部

決 算 期 : 9月期 … 決算発表予定(11月10日)(10月30日 業績見通し引き上げ、配当引き上げ発表)

業 務 内 容 : 粉体関連装置で業界トップ

海外売上高比率: 73.9%

粉 体 技 術 : ほとんどの産業で必要とされる技術であり、ハイブリット車、スマホにも必要不可欠な技術。

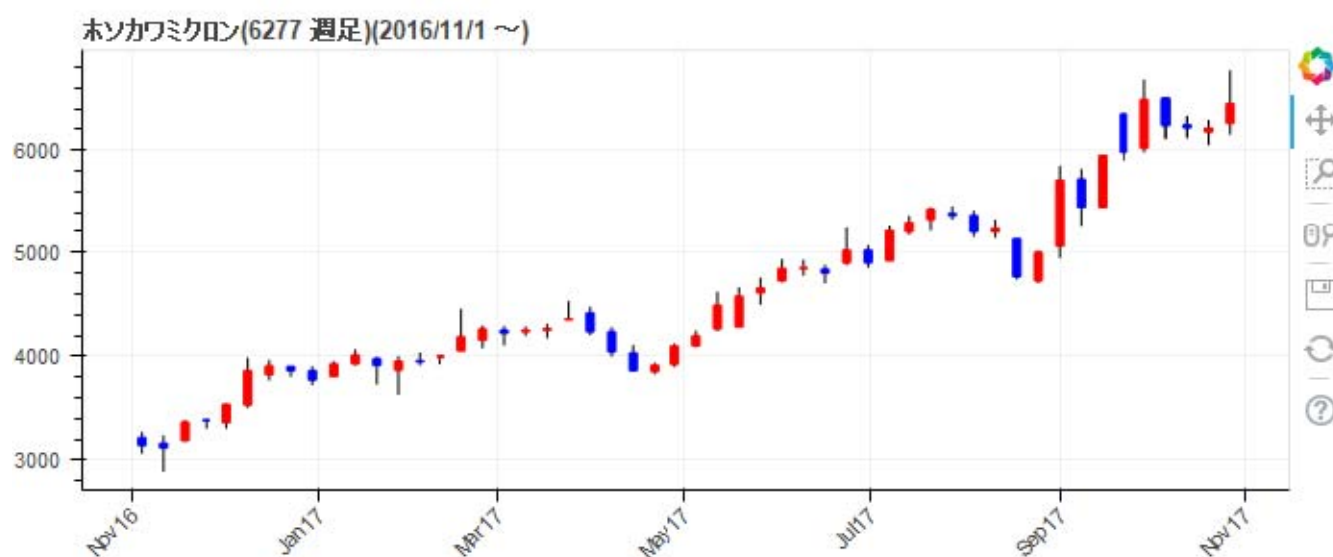
<http://www.hosokawamicron.co.jp/jp/ir/faq/>

業績(8月10日発表)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
29年9月期第三四半期	34,993	9.8	3,028	45.4	3,207	53.8	2,285	59.6	273.04	
28年9月期第三四半期	31,856	△0.7	2,083	181.2	2,085	134.9	1,431	164.4	171.03	

業績予想修正(10月30日発表)					
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	EPS
前回発表予想(A)	45,000	3,750	3,750	2,550	304.58
今回修正予想(B)	49,500	5,040	5,200	3,550	426.33
増減額(B-A)	4,500	1,290	1,450	1,000	—
増減率	10.00%	34.40%	38.70%	39.20%	—

3Qの受注高は421億円(前期比+17.8%)、受注残高は266億円(前期比+39.2%)と伸びています。大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置などが好調です。9月決算のため、本決算の発表11月10日を過ぎてから購入を考えたところですが。

(11月2日追記) 10月30日に業績の上方修正、増配を発表し大きく値を飛ばしています。



[4971 メック]

本 社 住 所 : 兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号

上 場 市 場 : 東証1部

決 算 期 : 12月期 … 2Q 決算発表(11月2日)

業 務 内 容 : 電子基板・部品製造用薬品の開発、製造販売及び、機械装置、各種資材の販売

海外売上高比率: 54.6%

業績(8月8日発表)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
29年12月期第1四半期	2,495	8.5	519	2.1	523	11.8	435	20.2	22.74	
29年3月期第1四半期	2,300	5.3	508	2.5	467	△13.1	362	△3.9	18.72	

業績予想										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	9,000	10.3	1,400	-16.9	1,500	-11.6	1,100	-27.4		

本社を新たに作るなどのコスト増から保守的な見通しも、電子基板を使う製品の増加と共に、同社の業績は上向きに推移しています。1Q から上方修正を発表しており、今後も続くと思われます。自動車の電装化は電子基板の高密度化につながるため、同社の薬品への需要は一段と伸びることでしょう。



[6637 寺崎電機産業]

本 社 住 所 : 大阪市平野区加美 6 丁目 13-47

上 場 市 場 : ジャスダック

決 算 期 : 3 月期 ... 2Q決算発表予定(11 月 14 日)

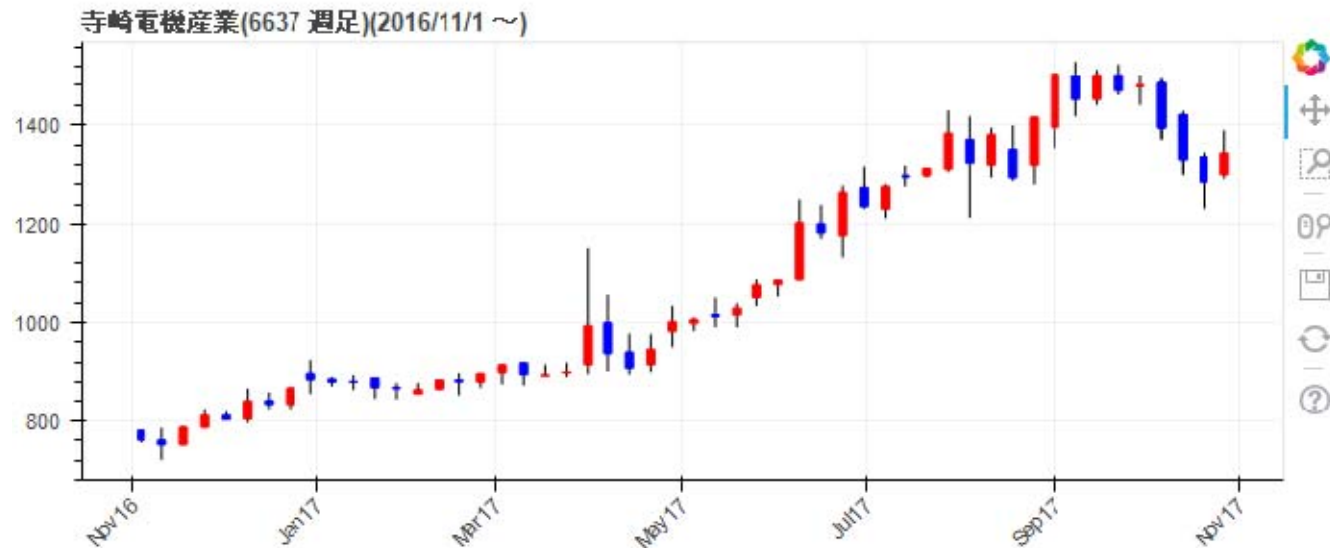
事 業 内 容 : 船舶用システム、産業用システム、ブレーカ製品

海外売上高比率: 46.3%

業績(8月10日発表)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
30年3月期第1四半期	8,488	12.8	456	97.5	514	136.6	351	148.3	26.95	
29年3月期第1四半期	7,525	△22.0	231	△65.5	217	△72.8	141	△70.7	10.86	

業績予想										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第2四半期(累計)	18,780	24.6	900	118.3	950	106.4	680	118.2	52.19	
通期	37,590	14.3	2,150	16.9	2,250	△5.2	1,590	△16.7	122.04	

船舶用システム製品の売上が、国内・海外向けのコンテナ船、バラ積み、LNG など全般に売り上げが堅調となり、利益が大きく伸びています。受注残は前年比で3億円増加の182億円となっています。



[6315 TOWA]

本 社 住 所 : 京都府京都市南区上鳥羽上調子町 5 番地

上 場 市 場 : 東証 1 部

決 算 期 : 3 月期 … 2Q決算発表予定(11 月 6 日)

事 業 内 容 : 半導体後工程製造装置

海外売上高比率: 86.1%

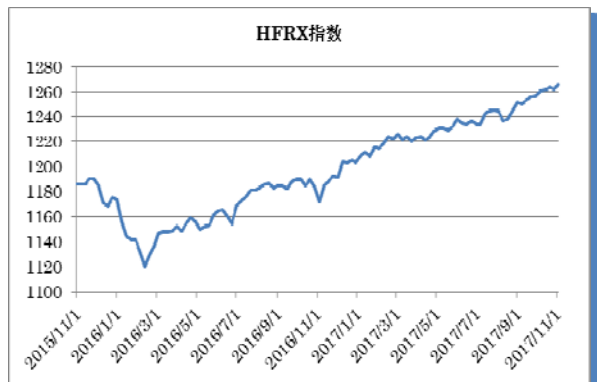
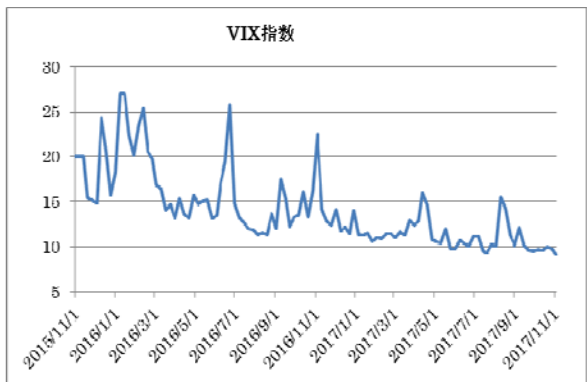
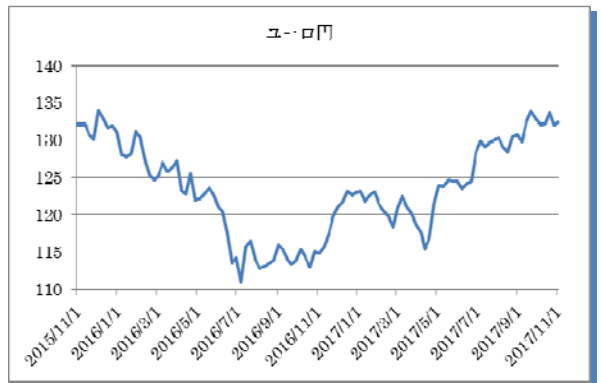
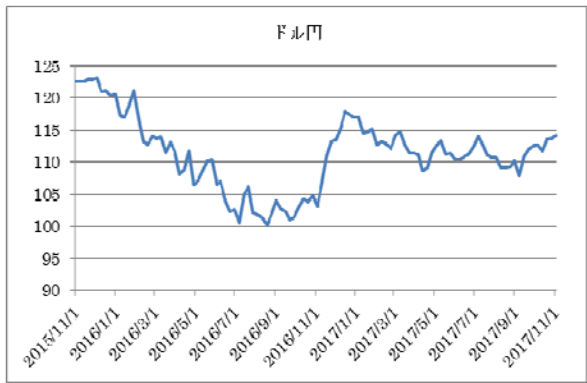
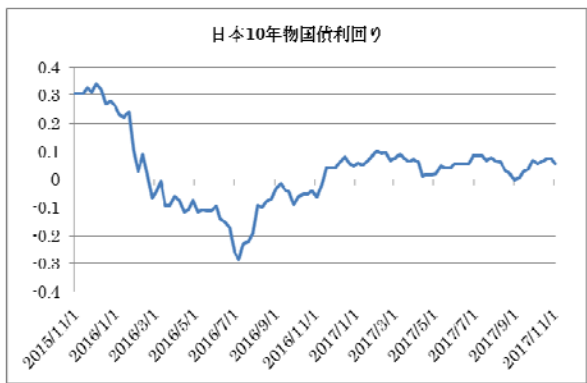
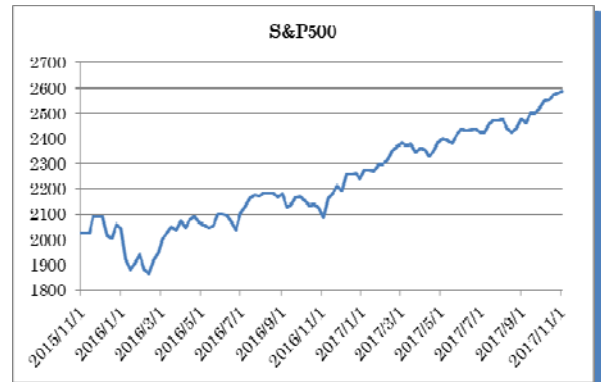
業績(8月10日発表)										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
30年3月期第1四半期	7,068	4.9	1,014	56.3	1,004	62.5	665	39.6	26.62	
29年3月期第1四半期	6,738	17.6	648	30.7	618	17.2	476	-21.4	19.06	

業績予想										
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		EPS	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第2四半期(累計)	14,500	2.4	2,000	1.6	2,100	2.8	1,450	-9.9	57.98	
通期	29,500	7	4,000	4.4	4,150	0.4	2,850	-26.3	113.95	



光世証券のブログ Investors Ball では、このほかにも多数の個別株を採り上げております。これまでに串カツ田中 (3547)、チャームケア (6062)、バルニバービ (3418)、あらた (2733)、メック (4971) などの調査を行いました。ぜひご覧ください。(http://kosei.co.jp/wordpress/)

◆◇ 指標・為替チャート ◇◆



《執筆者》

株式・債券・為替 … 小川 英幸

オルタナティブ(ヘッジファンド) … 樋爪 功次

そうだったのか!「知って納得、証券投資」Vol.100 … 小川 英幸
銘柄レポート(輸出比率の高い関西企業)

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

本資料の表・グラフのデータ出所: THOMSON REUTERS

K 光世証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会: 日本証券業協会

本店 / 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-1-10 TEL: 06-6209-0821

東京店 / 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町9-9 TEL: 03-3667-7721

